

NBS119

アメリカ食品医薬品局（FDA）は、全身の筋力が低下する難病の**脊髄性筋萎縮症（SMA）**について、スイス製薬大手ノバルティスの新たな遺伝子治療薬を認可したと発表したそうです。

1回分の価格は**212万5000ドル（約2億3000万円）**で、「世界で最も高価な薬」となっています。

SMAは体が麻痺し、呼吸困難などに陥る病気で、主に小児期に表れるようです。筋肉を動かす神経細胞に関わる遺伝子の異常が原因とされるそうです。難病情報センターによりますと、小児期までに**10万人に1～2人の割合**で発症するそうです。

承認された治療薬は、この遺伝子に異常があった**2歳未満の乳児**が対象で、ウイルスを使って体内に正常な遺伝子を選び、筋肉を動かせるようにするんだそうです。FDAは「**臨床試験で明らかな症状の改善が見られた**」として認可を決めたそうです。

SMAに対しては、米国内で既に別の治療薬が認可されていますが、継続的な投与が必要となるそうです。

ですが今回の新薬は**1回の投与**で効果が長期間続くんだそうです。

ノバルティスは日本での認可も目指しているようです。

お一人でも多くの方が苦しんでおられる難病から解放されることを願っております。

この価格はどうなんでしょう？



弊社Top Pageへ 



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

NBS